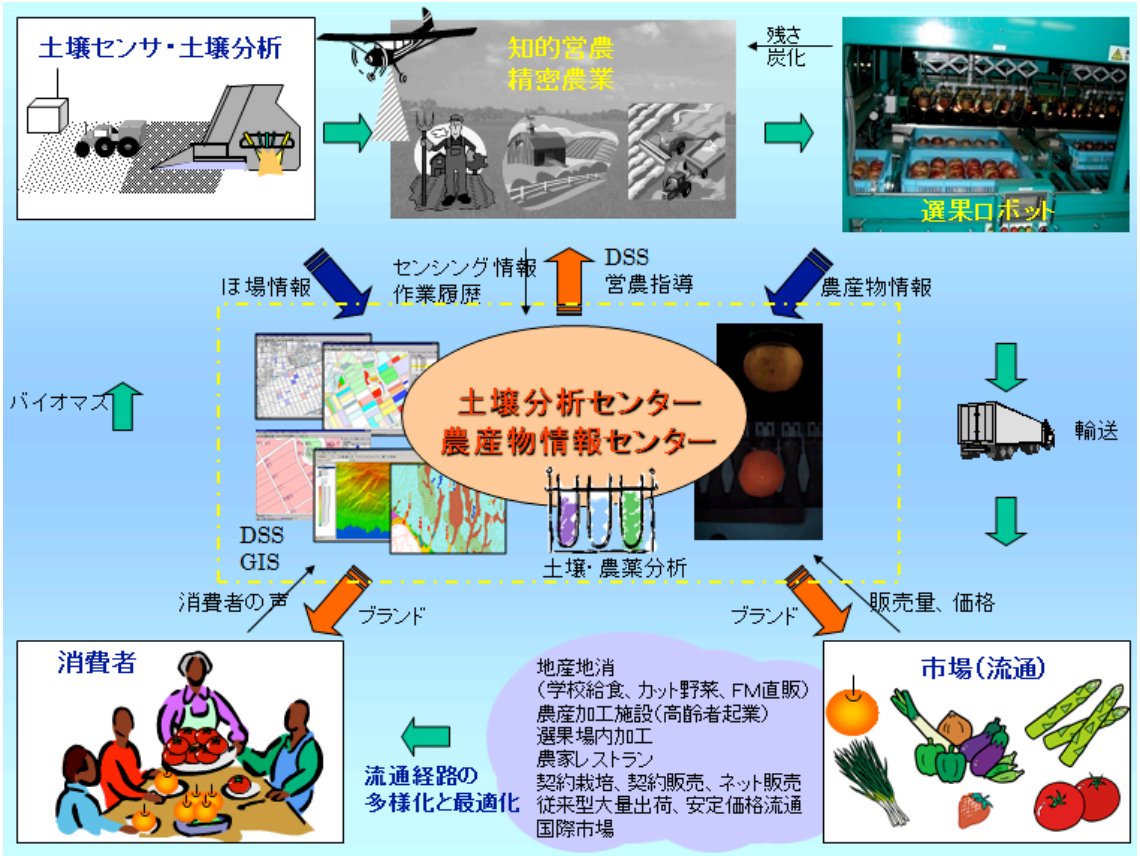
- 第 15 回　　食の安心・安全のためのトレーサビリティ

食料生産のための機械の役割は，従来，労働力不足の解消，３K 労働からの解放，単調労働からの解放，生産物の品質向上，品質の均一化，施設内の無菌化などが挙げられたが，ここに来て，作業の情報化，農産物の情報化，さらにはその情報の記録と利用という役目が加わった。人手で行う作業と比較して機械やロボットで行う作業の方が正確にデータを蓄積可能であること，蓄積した情報を生産者および消費者に対してどのように利用するか等について学ぶ。